



## 幸せは人権学習から

新野隣保館長

堀崎 正勝さん

今から15年前の平成10年には、「21世紀は人権の世紀」または「人権と共生の世紀」として、すべての人の人権が尊重され、明るく平和な社会となることを人類共通の願いとしてスタートをしました。そして、そうした社会の一日も早い実現に向けて、阿南市では阿南市人権教育協議会を中心に行政機関や教育関係機関と連携しながら、同問題の解決を基軸に据えて、あらゆる人権課題の解決に向けた取組がされています。

しかしながら、いまだにすべての人の差別意識の払拭には至っていない現状があると思います。けれども、同和教育が徹底していなかった過去の時代に比べると、人の意識は大きく変わってきたと思います。私が高校教師とし

阿南市の花「ひまわり」の花言葉は、「光輝く」です。人権について考え守っていくことが、まさに光り輝く阿南市づくりにつながります。人権教育・啓発コーナー「ひまわり」では、市民の皆様の人権に対する思いを掲載しています。

て現職の時には生徒の就職に関して公正な選考がされず、公務員採用試験についても、一般企業での採用試験や面接試験でも差別選考が極めて当たり前のように行われていました。ちょうど私が進路指導を担当した時に、ある生徒の差別選考事象に遭遇したのをきっかけに、その頃、富岡東高校の中村先生や小松島西高校の藤井先生などが中心になって「就職差別につながる14項目」を作成し、当時の高校校長会や県商工労働部や職業安定所に働きかけて協力をしてもらい、後に全国に広まっていたことを思い出します。その後、そのことに抵触する企業はほとんど無くなっています。その時の苦労が実を結んだことは今では喜びに変わっています。

また、卒業生の結婚問題についてもうれしい便りももらいましたので紹介します。娘の結婚について反対していたお母さんからのお便りです。

「先生お元気でお過ごしでしょうか。」

4年前には大変お世話になり、ありがとうございました。あの時は私も『同じ人間なのに』と思いき、差別をしておかしいとよくよくわかっており、親類からどういって反対されるかと私たち両親も反対したのでした。娘に結婚できないと申しましたら、一晩帰ってきませんでした。いつも9時までには帰ってくるのに、あの日は11時が来て帰ってこないのです。はじめて先方様の男性のお宅へ電話をしましたら、2人で車に乗って出て行つたと言われました。一晩中心配で眠れず朝警察へ知らせるつもりでしたが、朝、先生と一緒に家に帰ってきてくれました。そして先生から、こんこんとお話を聞かされ、私もかわいい娘の幸せのことなら、その時はまだ半信半疑のまま先生に仲人をお願いして、ついに娘の結婚を許しました。あれから4年になります。今のところ娘はとつても大事にしています。幸せな日々を送っています。先月孫も生まれました。結婚を許して本当によかったと思っています。私以上に主人は反対しておりましたのに、今はとつても喜んでおります。先生のおかげだと思っています。あの当時は、娘が被差別部落出身の男性と結婚したとは人に正直にお話しはできませんでした。それはどうしてだつたんだろうと今も考えさせられます。先生はご退職後、隣保館にお勤

めだと聞いておりますが、これからも一日も早く差別の無い社会になって、(みんなに) 幸せな結婚をしていただけるようお祈りしています。ますますお元気で明るい社会づくりに頑張ってくださいませ。ありがとうございました。.....」

期待しています。

今年徳島県においては、10月11日から13日までの3日間にわたって「日本女性会議(男女共同参画)2013あなん」が阿南市で開催されます。また、11月23日から2日間「第65回全国人権・同和教育研究大会」が徳島市のアステイとくしまを主会場として開催されます。こうした機会をとらえて参加して勉強することが、自らの心の解放につながり、差別の無い明るい社会の実現に結びついていくものと思います。相手の立場に立つて考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感心ができ、深いやさしさの心を持つ人間として成長していくものと思います。

### 問い合わせは

人権・男女参画課

(☎22-3094) へ

